

2023

# 姉妹都市教育交流事業研修報告書

『 Sister City Education Exchange Project 』

Report on the Student Delegation to Encinitas



天草市教育委員会



## — 目 次 —

### ■ 姉妹都市交流の経緯・姉妹都市の概要

---

P 1

### ■ 研修日程

---

P 2

### ■ 研修感想文

---

- |   |       |      |        |      |
|---|-------|------|--------|------|
| 1 | 本渡中学校 | (3年) | 松本 恵依  | P 4  |
| 2 | 稜南中学校 | (3年) | 池田 こはく | P 9  |
| 3 | 稜南中学校 | (3年) | 若松 凜太郎 | P 15 |
| 4 | 牛深中学校 | (3年) | 伊藤 優里  | P 20 |
| 5 | 天草中学校 | (3年) | 西島 美桜  | P 25 |
| 6 | 河浦中学校 | (2年) | 大久保 仁頼 | P 30 |

### ■ 引率総括

---

《引率教員》 御所浦中学校 教諭 日隈 尚人 P 35

### ■ 写真

---

P 46

## 姉妹都市交流の経緯

エンシニータス市との姉妹都市交流は、トライアスロンを縁として始まり、昭和63年以来、旧本渡市との間で行われてきました。この交流関係を天草市でも受け継ぐことになり、平成18年5月29日に天草市で、さらに同年9月29日にはエンシニータス市で、それぞれ姉妹都市締結調印式を行いました。調印式では今後、行政や教育、産業、経済、消防、医療などの各分野における交流を行いながら、両市民間の相互理解と友情を深め、両市の恒久的な友好関係を樹立することを誓いました。

## エンシニータス市（カリフォルニア州）の概要

### ◆ 位置、気候

アメリカ合衆国の西海岸に位置し、年間の平均気温は22度と温暖で、年間を通して雨が少なく（年間降雨量は230㎜程度）、非常に過ごしやすい気候です。一方、雨が少ないので水の確保が一番の問題であり、大半は北カリフォルニア川ウォータープロジェクト、コロラド川水路やホッジ湖などから供給されています。

（天草市は、年間平均気温は16.5度、年平均降水量は2,191㎜程度）



### ◆ 人口

人口は、約63,000人（天草市は、約74,089人：R5.4.1現在）で、西海岸の中心都市ロサンゼルス市から南へ約160km、南のサンディエゴ市から北へ約40km程度の距離にあり、静かな住宅地として人気が高いところです。

### ◆ 産業

農業が主体で、ハウス栽培による菊・百合のほか、特産のポインセチアなどが栽培されており、ロサンゼルスやニューヨークをはじめ、世界各国へ出荷されています。



### ◆ 商業

新興都市であるため店舗は意外と少なく、海岸通りに面した道路に衣料品店、レストランなどがあります。内陸の方には大きなスーパーがあり、食料品からすべて整っています。



### ◆ 観光

カリフォルニア有数のサーフスポットとして名高い「Swami's Beach」があります。サーフィン文化が色濃く、年間を通じて多くのサーフコンテストが開催されます。



ロサンゼルスなどの大都市に比べて治安状態が良く、落ち着いた町で、市民の心の豊かさ、温かさを感じとることができます。天草市とエンシニータス市とは、これまで培われてきた長い歴史の中で、海に面した自然環境や落ち着いた住宅街など、よく似た環境であると言えます。

Tuesday, July 25

7:00am Depart Amakusa by taxi for Fukuoka Airport  
 11:00pm Arrive at Fukuoka Airport  
 0:55pm Depart Fukuoka by JL314 for Haneda Airport  
 2:40pm Arrive at Haneda Airport  
 5:00pm Depart Haneda by JL016 for Los Angels Intl' Airport  
 ~ the international date line ~  
 11:20am Arrive at Los Angeles Intl' Airport  
 Depart for City Hall  
 3:30pm Delegation arrive at City Hall  
 4:00pm-4:30pm Brief Welcome reception  
 Meet host families, Host families take home

Wednesday, July 26 -Meet the Mayor and Downtown Encinitas-

1:00pm-2:15pm City hall visit and  
 meet the Mayor and SDUHSD Superintendent  
 2:30pm-4:45pm Walking tour of downtown Encinitas,  
 Moonlight Beach, Boat Houses,  
 Public Art, Original School House,  
 frozen yogurt/boba tea  
 5:00pm Host families pick up at City Hall

Thursday, July 27 -Surf and Turf-

9:00am host families drop off at City Hall  
 9:45am Horse ride at Sunland Ranch in Olivenhain  
 12:00pm Lunch at Fish 101 Restaurant  
 1:30pm Surf lessons at Moonlight Beach  
 3:30pm-4:30pm Coffee/tea at Pannikin Coffee  
 (host families pick up from there)

Friday, July 28 -Bike and Hike-

9:00am host families drop off at City Hall  
 10:00am B-Cycle/Electra E-Bike tour of Coast  
 11:00am Visit/take photos at Cardiff Kook  
 11:30am Lunch at Besta Wan Pizza Cardiff  
 1:00pm Return to B-Cycle/Electra Encinitas  
 1:30pm-3:30pm Double Peak Park Hike in San Marcos  
 (views of area)  
 4:30pm Return to City Hall - Host families take home

7月25日 (火)

午前 7:00 ジャンボタクシーにて福岡空港へ出発  
 午前11:00 福岡空港到着  
 午後 0:55 JL314便にて羽田空港へ出発  
 午後 2:40 羽田空港到着  
 午後 5:00 JL016便にてロサンゼルス国際空港へ出発  
 ~ 日付変更線 ~  
 午前11:20 ロサンゼルス国際空港到着  
 専用車にてエンシニータス市役所へ出発  
 午後 3:30 エンシニータス市役所到着  
 午後 4:00-4:30 歓迎レセプション  
 ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ

7月26日 (水)

午後 1:00-2:15 市役所訪問  
 市長及び教育長面談  
 午後 2:30-4:45 エンシニータスの街中を徒歩散策  
 ・ムーンライトビーチ ・ボートハウス  
 ・パブリックアート ・オールドスクール  
 ・フローズンヨーグルト/ボバティー  
 午後 5:00 ホストファミリーが市役所に迎えにくる

7月27日 (木)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう  
 午前 9:45 オリブンヘインのサンランド牧場で乗馬  
 午後12:00 ランチ(Fish 101 Restaurant)  
 午後 1:30 サーフィン体験(ムーライトビーチ)  
 午後 3:30-4:30 コーヒー/ティータイム(Pannikin Coffee)  
 (ホストファミリーはそこに迎えに来る)

7月28日 (金)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう  
 午前10:00 海岸の電動自転車ツアー  
 午前11:00 カーディフクック像前で記念撮影  
 午前11:30 ランチ(Besta Wan Pizza)  
 午後 1:00 電動自転車でエンシニータスに戻る  
 午後 1:30-3:30 ダブルピークパークでハイキング  
 (サンディエゴの景色一望)  
 午後 4:30 市役所に戻る、ホストファミリー宅へ

Saturday, July 29 -Free Day with Host Families-

7月29日(土) ホストファミリーと終日過ごす

Sunday, July 30 -Downtown Trip and Padres-

7:35am Meet at NCTD Transit Center  
7:55am Coaster Train to San Diego  
8:42am arriving Santa Fe Depot  
9:00am-10:15am Walk Embarcadero and Seaport Village  
10:30am Arrive Petco Park VIP entrance to go on-field  
and meet Padres players at batting practice  
1:10pm Padres Game vs. Texas Rangers  
4:40pm Coaster to Encinitas arriving Encinitas  
5:25pm arriving Encinitas  
5:30pm Host families pick up from City Hall

7月30日(日)

午前 7:35 交通センター集合  
午前 7:55 電車でサンディエゴへ  
午前 8:42 サンタフェ駅到着  
午前 9:00-10:15 エンバカデロ、シーポートビレッジを散歩  
午前10:30 ペトコパークVIP入口到着、球場内へ移動  
バッティング練習中のパドレスの選手と面会  
午後 1:10 野球観戦(パドレス vs. テキサスレンジャーズ)  
午後 4:40 電車でエンシニータスへ  
午後 5:25 エンシニータス到着  
午後 5:30 ホストファミリーが市役所に迎えにくる

Monday, July 31 -Depart for Los Angeles and Amakusa-

9:00am Host families drop off at City Hall  
9:30am Delegation leaves for Los Angeles  
Sightseeing after arrival at Los Angeles  
(Santa Monica, Hollywood, Downtown etc.)  
5:00pm Delegation arrives at Hotel at Los Angeles

7月31日(月)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう  
午前 9:30 専用車にてロサンゼルスへ向け出発  
ロサンゼルス到着後、市内観光  
(サンタモニカ、ハリウッド、ダウンタウンなど)  
午後 5:00 ロサンゼルス市内ホテル到着

Tuesday, August 1

10:00am hotel transfer to Los Angeles Intl' Airport  
(Buy a souvenir on the way to Airport)  
11:30am Arrive at Los Angeles Intl' Airport  
2:35pm Departing Los Angeles by JL015 for Haneda Airport

8月1日(火)

午前10:00 専用車にてロサンゼルス国際空港へ出発  
(途中スーパー等に立ち寄り)  
午前11:30 ロサンゼルス国際空港到着  
午後 2:35 JL015便にて羽田空港へ出発(30分遅延)

Wednesday, August 2

5:35pm Arrive at Haneda Airport  
7:35pm Departing Haneda by NH2145 for Fukuoka Airport  
  
9:35pm Arrive at Fukuoka Airport  
9:50pm Depart on taxi for hotel in Fukuoka  
10:00pm Arrive at hotel

8月2日(水)

午後 5:35 羽田空港(10分遅延)  
午後 7:35 JL335にて福岡空港へ出発  
(JL015便遅延の影響によりJL333便から変更)  
午後 9:35 福岡空港到着  
午後 9:50 ジャンボタクシーにて福岡市内ホテルへ  
午後10:00 福岡市内ホテル到着

Thursday, August 3

10:00am Depart hotel by taxi for Amakusa City Hall  
2:20pm Arrive at Amakusa City Hall

8月3日(木)

午前10:00 ジャンボタクシーにて天草へ出発  
午後 2:20 天草市役所到着

## 『 夏休みの思い出 in エンシニータス市 』

本渡中学校 3年 松本 恵依

私は10日間の天草市姉妹都市教育交流事業で、アメリカのエンシニータス市へ行きました。この交流事業に参加できたことで、視野がとても広がりました。毎日が新しい経験ばかりで一生涯の思い出になりました。このような素晴らしい経験ができたのはたくさんの人のおかげで、感謝の気持ちを忘れずにこれからの生活に活かしたいと思います。

7月25日（1日目）

保護者や先生方に見送られ福岡空港に向かいました。バスの中では交流事業に参加する他の生徒と色々な話をしました。福岡空港に到着後、みんなで最後の日本食を食べました。アメリカ行きの飛行機の中、私の隣に座っていたのは、アジア系の男性の方でした。少し経つと、男性の鼻から鼻血が出ていました。私は少し緊張しましたが、Here you're. と言い男性にティッシュを渡しました。ティッシュは未開封で男性はHow do you open this tissue?と尋ねてきました。他の国ではこのようなティッシュは無いのかなと驚きました。私はYou can open it like this. と言い開け方を教えました。これが今回の交流事業で初めての英会話でした。すぐに寝てしまい、10時間はあっという間に過ぎました。アメリカに着くと税関を通り、外に出ました。暑いというイメージでしたが、とても涼しかったです。外には多くの人々がいて車のクラクションが沢山鳴っていました。日本と違いマスクは誰も付けていませんでした。

車に乗るとガイドさんからアメリカについての説明を聞き、昼食を食べにIN N OUTというハンバーガー屋に行きました。店員さんの英語が早くて困りましたが、自分で英語を話して注文できて良かったです。食後、ホストファミリーのいるエンシニータス市役所に向かいました。そこには沢山のホストファミリーの方々



がカードを持ってニコニコしながら待っていてくれました。少しドキドキしていましたが、みんな優しく安心しました。私のホストファミリーは元気で、途中の車ではケイトとエラーが沢山の質問をしてくれました。自分自身、英会話が出来たと感じました。家に到着し、靴を脱ぐかどうか聞いてみると、家に入って少し行ったところで脱ぐと教えてくれました。日本生活との違いが見られました。家にはトフ

イーという猫がいて、とても可愛かったです。夜ご飯はメキシコ料理のトルティーヤを食べました。夕ご飯を食べながら天草の魅力について沢山話をしました。夕食後、ケイトとエラーと空中に絵を描くゲームをしました。良い家族に恵まれたと安心しました。

### 7月26日（2日目）

ケイトが朝食を作ってくれました。朝食はいつも自分達で作るそうです。朝食後ケイトと TikTok を撮りました。そしてケイトが優里さんのホストファミリーのタイラーの家までeバイクに乗って行こうと言ったので、2人乗りでeバイクに乗って行きました。アメリカでは電動自転車は、道路の真ん中を通るそうで、道路の真ん中を走りました。市役所に到着後、エンシニータス市と天草のつながりについて話しました。市長はスーツではなく、カジュアルな服装だったので少し驚きました。そしてエンシニータス市の街中を散策しました。道路がとても広くて車の移動する速度が日本に比べて速く感じました。私はジャスティンという男性と沢山英語で話しました。最後にアイスクリームショップに寄って、とても甘くて美味しいブラックアイスとキャラメルアイスのダブルを頂きました。夜はホストの父の彼女の家に行き、大きなスペアリブのお肉を頂きました。味付けが日本と違い、とても美味しかったです。チョコレートケーキとレモンケーキも食べました。とても量が多かったですが、つい食べ過ぎました。ジャグジーがあり、とても温かく気持ち良かったです。

### 7月27日（3日目）

朝起きて、シリアルとベーコンを食べると水着に着替えて市役所に向かいました。とても甘いものを摂取し、シュガーハイになりました。次に乗馬に行きました。馬に乗るのは久しぶりだったので、緊張しました。昼食はフィッシュアンドチップスとレモネードとお茶を混ぜた飲み物を頂きました。その後、海に行きサーフィン



しました。砂がとても白くて驚きました。日本の波に比べて大きかったです。最初はサーフボードから落ちてばかりでしたが、慣れてくると立てるようになり、とても楽しかったです。帰る際に優里さんがスマホを無くしましたが、ライフガードの方に届けられていて、エンシニータス市の方々はとても親切な方が多い



と感じました。夕方、ケイトと一緒にネイルの買い物をし、ルビーズという90年代のアメリカのチェーン店に行きました。甘い美味しいスムージーを飲みました。店員さんは昔ながらの服装をしていて映画で見るような店にも行きました。アメリカの店員の方は、私達に興味を持って色々話してくれる方々が多かったです。帰宅後、ケイトとエラーが私にネイルをしながら恋愛の話を聞かせてくれました。日本とは違うデートの仕方や付き合い方を知れてとても面白かったです。

7月28日（4日目）

朝起きて、ホストの父がオムレツを作ってくれました。ドーナツを食べ、ケイト達の高校に行きました。高校は日本とは異なり、とても広く壁などに絵が描いてありました。また、校内に沢山ベンチが置いてあり、昼は外で食べる人も多いそうです。昼からはeバイクの店に行き、少し練習をしてから現地の街をeバイクに乗って探検しました。途中、広い海が見えてとてもきれいでした。昼ご飯は、ピザやチキンを食べ、ハイキングに行きました。とても景色が綺麗でした。夜は優里さんとタイラーとナターシャが家に来て日本のホラー映画でムービーナイトを楽しみました。

7月29日（5日目）

自由に過ごす日で、家族でレゴランドに行きました。場内は人が多く、入る前に荷物のチェックがありました。理由を聞くと銃を持って来ている人がいないかチェックするためだそうです。そこでジェットコースターに乗ったり、オリジナルのレゴの車を作ったり、レゴ city を見たりしました。全部がレゴで作



ってありすごかったです。昼は大きなメキシコのチュロスを食べ、プールに行きました。6人ぐらいで乗るウォータースライダーや人工的な波が作られるプールなどに入りました。アメリカ人は、ほとんどの人がビキニを着ていて、自分も初めてビキニを着ました。帰宅後、ズッキーニを切ったり、トマトやポテトを準備したりして、夜はバーベキューをしました。沢山の人が参加して、バーガーを食べたり話しをしたりしました。アメリカの人々は、日本の学生の生活に驚いていました。ピアスや髪染め、スマホ持ち込み、ネックレスなど禁止の生活は、自分達には無理だと語っていました。スモアというビスケットに、溶かしたマシュマロとチョコを挟んであるデザートを食べました。



7月30日（6日目）

サンディエゴに野球観戦のために電車に乗りました。車窓の風景は海や乾いた土地があり綺麗でした。サンディエゴに着くと海沿いを歩いてお土産屋まで行きました。野球場には警察の方が大きな銃を持っていて、アメリカの警備は最強だと感じました。海軍の方達とも写真を撮りました。パドレスの会場の中に入っていくと実際の野球のグラウンドに連れて行かれとても驚きました。グラウンドの中ではパドレスの選手達が練習をしていて何人か手を

振ってくれました。すると中から、ダルビッシュ選手が出て来てくれて写真と握手をしてくれました。何も知らされていなかったのもとても驚きました。ダルビッシュ選手は背が高くてすごかったです。みんなが英語で話しかけると日本語で大丈夫ですよ、と少し笑っていました。そしてキムハソン選手、パドレスの監督も来てくれて写真を撮ってくれました。サインボールに監督とキムハソン選手にサインを書いてもらいました。試合が始まってパドレスが1点取ると本場の声援があがり、悪いことがあるとブーイングが聞こえました。先ほど私達が握手した人達が試合に出ているとすごいと感動しました。

7月31日（7日目）

ホストファミリーと最後の日でした。朝からエラーがハニートーストを作ってくれて食べました。市役所に着くと、最後の別れで手紙を渡してとても悲しかったです。まだ一緒にいたかったです。ハグして車に乗り込むとロサンゼルスまで向かいました。最初はサンタモニカに着き、橋を渡って有名な66通りを通りました。沢山のひととアメリカンな店が沢山ありました。現地の海は日本の海のように塩の香りはしませんでした。終わるとデパートで一切れの大きなピザとマウンテンドリンクを頂きました。ハリウッドでは、有名人の手形やサインが床に沢山ありました。その後ホテル付近では、日本町に行き、日本のお店が沢山あり、多くの人でにぎわっていました。夕飯の中華料理屋に行く途中、道端にホームレスの方々のテントが多くあり、経済格差を感じる光景を目にしました。一泊し日本へ帰国しました。

8月1日（8日目）

私は研修の前、日本とアメリカの違いを探そうと思っていましたが、実際に行ってみると違うところもちろんありましたが、似ているところが沢山あり見方が変

わかりました。似ていることとしては人が優しいところです。現地の方々はみんなとても親切で分からないことも丁寧に教えてくれました。また、現地の街並みがとても綺麗でゴミがあまり見られませんでした。天草と似ていると感じました。しかし、州によっては大分風景が違ったので、全ての面でそう言えないとも思いました。また気づいたことは、アメリカは多文化社会で、色々な国籍を持っている方がいてお互いの文化を尊重し合っていると身近で感じました。滞在先の気候は日差しがとても強いが、風がとても涼しいためエアコンがない家も多く驚きました。私は現地に行き、より英語を使った仕事をしたいと思いました。今回、馬場市長をはじめ、学校の先生、引率して頂いた日隈先生のおかげでとても有意義な交流事業を経験することが出来ました。本当にありがとうございました。

## 『 姉妹都市教育交流事業を終えて 』

稜南中学校 3年 池田 こはく

私は今回、天草市の姉妹都市であるエンシニータス市に10日間行ってきました。そこで、ホームステイやたくさんの体験を通して、海外の文化や言語、食事などたくさんのことを学ぶことができました。

7月25日（1日目）

出発当日、たくさんの人に見送られながら市役所を出発しました。福岡空港到着後、空港内のフードコートで昼食を済ませ、羽田空港に向かいました。羽田空港到着後、出国審査をして、国際線の飛行機に乗りました。海外に行くのはこれで3回目だけど、久しぶりに長時間飛行機に乗ったので、とてもわくわくしました。飛行機に乗っている時、隣の外国人が話しかけてくれました。日本やアイドルが好きみたいで、少しだけ会話をしました。初対面なのに親切に話しかけてくれて少しびっくりしたし、ちゃんとリアクションできているか不安だったけど、上手く会話が出来たと思います。日本人と違い、外国人のこんなフレンドリーな性格は、会話や交流をする上で大事なものだと思いました。

ロサンゼルス空港に到着し、入国審査をして、私たちを案内してくださるガイドさんと合流しました。私たちが乗る車を待っていた時、車のクラクションがたくさん鳴っていて少し怖かったです。昼食は「IN-N-OUT」という有名な



ハンバーガー屋に行って、ハンバーガーを食べました。注文する時に、店員さんの話すスピードが速すぎて聞き取るのが難しかったです。ジュースやハンバーガーのサイズが日本よりも大きくて、食べきれませんでした。

エンシニータス市の市役所に到着し、ホストファミリーの方々が温かく迎えてくださいました。私のホストファミリーはとても優しい方たちでした。マリーナ（Marina）は15歳の女の子で、日本語がとても上手でダンスをしています。マリーナは、アメリカの文化など私にたくさん教えてくれました。パロマ（Paloma）は、14歳の女の子で、ソフトボールやバレー、グラウンドホッケーをしています。お母さんやお父さんはとてもフレンドリーで、私の体調や気分を気遣ってくれました。ペットのメイジー（Maisie）は、とてもお利口でおとなしかったです。アメリカでは保護犬を引き取る人が多く、歳も犬種も分からないと教えてもらった時は驚きま

した。夕食は美桜さんとそのホストファミリーを招待して、音楽を流しながらピザを一緒に食べました。また、ホストファミリーに風鈴や扇子などのお土産をあげた時、みんなとても喜んでくれて嬉しかったです。会話が上手くできるか不安でしたが、言い換えてもらったり、ゆっくり言ってもらったりしたので、思ったよりできたと思います。分からなくても笑顔で、大きい声で、自分の気持ちを伝えようとする姿勢が大切だと思いました。

#### 7月26日（2日目）

時差ボケでなかなか眠れず、朝5時に起きました。マリーナと一緒に市役所へ行き、市長に会いました。記念撮影をして、市役所を見学しました。働いている人には一人ずつオフィスがあって、一人で仕事をしている人が多かったです。みんなフレンドリーで、すれ違った時に手を振ってくれたり、挨拶をしてくれたりしました。

そして、エンシニータス市を散策しました。町やお店の雰囲気がとてもおしゃれで、自然がとても綺麗で、素敵な場所でした。みんなで信号が青の間に交差点で写真を撮りました。みんな必死になって走って楽しかったです。エンシニータス市で一番古い建物に行きました。そこは学校で、昔はどんなものを使っていたのか、どのように授業をしていたのかを知ることができました。また、マリーナがアルバイトをしているジェラートのお店にも行きました。店員さんがすごくやさしくて、注文しやすかったです。マリーナがおすすめしてくれたチョコミントとブラックバナナを食べました。とても美味しかったです。家に帰る途中に海に寄って、マリーナと写真を撮りました。疲れていたもので、家に帰ってからすぐ寝てしまいました。ホストファミリーは気遣って寝せてくれたけど、一緒に夕食を食べることができませんでした。夕食はタコスで、日本で食べるタコスより辛かったけど、美味しかったです。その後は、マリーナのダンスを少し見ました。とても上手でした。エンシニータス市のことをたくさん知ることができた1日でした。

#### 7月27日（3日目）

パロマとその友達のローラと牧場に行きました。その牧場で飼われている馬について詳しく知ることができました。乗馬もしました。馬がなかなか言うことを聞いてくれなくて焦ったけど、楽しかったです。帰りにはレモンを採りました。とてもいい匂いでした。お昼は、みんなでフライドポテトやフィッシュアンドチップスをシェアして食べました。そこで、店員さんやお客さんに話しかけて写真を撮りました。優里



さんは恥ずかしがらずに自分から積極的に話しかけていて、すごいなと思いました。私も間違いを恐れずにたくさん話すべきだと思いました。それから、ビーチに行ってサーフィンをしました。みんなは次々とできているのに、私だけは全然できなくて不安でした。できないまま時間が過ぎ、もう終わろうとしていた時、スタッフの方がアドバイスをしてくれて、最後に1回だけ挑戦することにしました。そしたらなんと、最後の最後で成功しました！波に乗って長い間立っていられたし、写真も撮ってもらって最高の1枚になりました。でも、誰も見てなくて少し悲しかったです。しかし、達成感があってとても嬉しかったです。周りの人の助けやアドバイスを活かして、最後まで諦めずにやると、目標を達成することができると思いました。夕食はステーキでホストファミリーと食卓を囲んで、たくさん会話をしながら食べました。私の家族や天草のことについて教えました。食べ終わった後は、お父さんとパロマと一緒にEバイクに乗って道を走りました。体をたくさん動かしたので、とても疲れしました。

7月28日（4日目）

今日はEバイクに乗ってサイクリングをしました。気温もそんなに高くなく涼しかったので、サイクリングにはちょうどいい日でした。きれいな景色を見ながら、エンシニータス市を周りました。昼食はみんなでピザを食べました。激辛ピザに大量の辛い調味料をかけて食べました。辛すぎて水を大量に消費しました。昼食を食べた後はみんなでたくさん写真を撮りました。それから、ハイキングに行きました。サンディエゴの景色を一望して、とても感動しました。坂が急で足場が悪い道を歩いたので、何度かこけそうになってドキドキしました。夜は、マリーナとパロマとモールに行ってラーメンやタピオカ、アイスを食べたり、買い物をしたりしました。みんなとたくさん会話ができ、仲がよりいっそう深まった気がします。



7月29日（5日目）

今日は、ホストファミリーと自由に過ごせる日でした。マリーナとお父さんと自転車をレンタルして遊園地に行きました。ジェットコースターに乗ったけど、激しかったし、安全バーが緩くて落ちるかとも思い怖かったです。でも、とても楽しかったです。夜はお母さんとお父さんはパーティーで家にいなかったため、マリーナとパスタを食べながら、ムービーナイトをしました。ゆっくり過ごせた1日でした。

7月30日（6日目）

今日は、野球観戦をしにペトコパークに行きました。朝早くから電車に乗ってサンディエゴに向かいました。電車は2階もあって、景色が綺麗でした。そして、サンディエゴを散策してお土産を買いました。ペトコパークに着くと、CEOの方がダルビッシュ選手のフィギュアをプレゼントしてくれて、野球場まで案内してくれました。そこで、パドレスの選手が練習しているところを見学しました。その時、ダルビッシュ選手がサプライズで来てくれました。ツーショットは時間がなくてできなかったけど、握手をすることができました。その瞬間、もうこの手を一生洗いたくないと思いました。金河成選手やマチャド選手と写真を撮ったり、握手をしてもらったり、ボールにサインをしてもらったりしました。貴重な体験をさせてもらって、とても楽しかったし、いい経験になりました。それから、グッズが売ってあるお店に行きました。服と帽子と家族へのお土産を買いました。そして、観戦席に座って、ホットドッグを食べながら試合を観戦しました。観客みんなテンションが高くて、にぎやかでした。点数を決めたりナイスプレイをしたりしたら、みんな叫んだりして、失敗したら、ブーイングをしていました。みんなで歌う時もあったり、叫んだり大きい音を出す時もあったり、楽しかったしストレス発散にもなりました。夜は、私のホストファミリーの家にみんなを招待して、プールパーティーをしました。みんなでプールにダイブしたり、バスケットをしたり、浮き輪に乗って泳いだりしました。もうホストファミリーともお別れかと思うと、あっという間だったなと感じました。最後のこの時間をたくさん楽しもうと思いました。



7月31日（7日目）

今日でホストファミリーとお別れです。よくしてもらったし、楽しい時間を過ごせました。お別れするのは悲しいけど、天草にも来てほしいし、また会いたいと思いました。最後に” See you again.”（また会おう）と挨拶をして、お別れしました。それから、サンタモニカに行きました。橋を渡ろうとした時、知らない男の方が話しかけてきてパンフレットをくれました。とても親切に話しかけてくれたのでパンフレットを受け取りました。そしたら、そのパンフレットは無料じゃないと言って、お金をもらおうとしてきました。もらう前まではそんなこと一言も言ってなかったのが困惑しました。ガイドさんが対応してくださったおかげで、お金を払わずに済みました。日本では、ティッシュなど無料で配っている人がたくさんいるの



で、日本人は海外に行った時に私のように簡単に騙されてしまうと思いました。これから海外に行く時はこのようなことにならないように注意し、周りの人にも教えてあげたいです。サンタモニカを散策した後は、モールみたいなところのフードコートでピザを食べました。アメリカに来てから3回目のピザだったので、ちょっと飽き

ました。その後は、ダウンタウンに行きました。ハリウッドの看板を見たり、お土産を買ったり、スーパーマーケットに行ったりしました。ホテルでチェックインした後、ホテル周辺を散策しました。夕食はホテルからちょっと離れたところに中華街があったので、中華を食べに行きました。向かっている途中の道端にたくさんゴミが落ちていたり、ホームレスの方がたくさんいたりしたのを見た時は、衝撃でした。このような問題が先進国の課題だなと感じました。中華料理はとても美味しかったです。店員さんもお客さんも優しくていい人たちでした。明日、早く日本に帰って、早く家族や友達にこのことについて話したいと寝る前に思いました。

#### 8月1日（8日目）

今日は、早めに起きていろんなお店にお土産を買いに行きました。それから、空港に到着して、出国審査をした後、空港内のお店でお土産をたくさん買いました。お会計の時に、店員さんが買ったものを投げたり、レシートを雑に取ってぐちゃぐちゃにしたりして、びっくりしたけど、これも文化や常識の違いだなと思いました。飛行機に乗り離陸した時、あっという間だったなとなんだか悲しい気持ちになりました。

#### 8月2日（9日目）

日本に到着後、最初に思ったことは「暑い」でした。湿気でジメジメした空気に触れて、日本に着いたんだと感じました。行きより帰りの方がきつかったので、福岡空港行きの飛行機ではずっと寝ていました。ホテルに到着後、お風呂や準備を済ませてすぐ寝ました。

#### 8月3日（10日目）

今日は、豪華な朝食を食べて、博多駅に行きました。少し買い物をしてホテルを出発しました。昼食は高速道路のパーキングエリアで済ませました。激辛ラーメンを頼んで、全然食べることができなかったので、日隈先生に笑われました。市役所



到着後、私は車を降りてすぐに、お母さんを抱きしめに行きました。10日間も家族と離れるのは初めてだったので、会えた時は泣きそうになりました。また、私は解散式で挨拶をする担当だったので、緊張して手と声が震えていました。たくさんの方が私たちの帰りを待っていて、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。帰った後は、家族や友達、先生に今回体験したことや学んだことをたくさん話しました。帰国報告会でも、学んだことを馬場市長や市役所の方々に伝えることができました。

この貴重な体験は一生忘れられないものになったと思います。海外での体験は何もかもが面白かったし刺激的で、新しい発見がたくさんありました。非日常的な体験を通して、日本とは違う文化や食事、生活スタイルなどいろんなことを学びました。今まで自分が常識だと思っていたことも、場所が変われば当たり前ではないということを知りました。また、英語の授業で習った表現や文法を自分はどれだけ使えるのか、どれくらい話せるのかを確認できたし、もっと勉強しないといけないところも見付き、すごく勉強になりました。英語を学ぶことはとても大切だし、将来コミュニケーションのツールとして実用できるように、これからも英語の勉強を頑張っていきたいです。

## 『 エンシニータスで学んだこと、体験したこと 』

稜南中学校 3年 若松 凜太郎

僕は、天草市姉妹都市教育交流事業において10日間エンシニータス市でたくさん  
の事を体験し、学ぶことができました。

7月25日（1日目）

市役所でたくさんの方に見送られジャンボタクシーで福岡空港へ行き、そこから  
飛行機で羽田空港へ向かい、羽田から LA まで長時間のフライトでした。羽田から  
ロサンゼルス行きの飛行機は両隣が外国の方でした。正直とても緊張してしまっ  
たが、コンセントの場所を教えてもらったり、「トイレに行っていていいですか？」など  
とコミュニケーションをとったりすることができました。最後は” Thank you so  
much.” と言い長時間フライトを終えました。空港到着後は、マイクロバスで IN—  
N—OUT という人気のハンバーガー屋に行きました。メニューがセット A,B,C しか  
なく驚きました。ジュースはカップだけ渡されてレジ横の機械を使って飲まなけれ  
ばなりませんでした。何回でも飲むことができました。ハンバーガーのサイズは  
一番小さいのでもビッグマックくらいありました。大きくてとてもおいしかったです。  
食事後は、再びマイクロバスでエンシニータスへ向かいました。エンシニータ



スに着くとたくさんの方が歓迎してくれ  
て、ホストファミリーの方と会いました。  
ホストファミリーは両親と高校1年の長  
女 (Alanna)、中学2年の長男 (Jude)、  
小学生の次女 (Aubrey) の5人家族と聞  
いていましたが、父と Jude はサッカー  
の試合を観に行っていたので3人と祖父  
母が迎えてくれました。寝起きだったの  
で、いきなり本場の発音で話されて全く  
聞き取れず、翻訳機を使って会話をしま  
した。その後、車で家へ向かいながらエン  
シニータスや天草の話をしました。家は  
豪邸で裏庭はそこら辺の公園くらいあり、

球技用ネットやハンモックもありました。家に着くと自分の部屋を紹介してもらい、  
軽く荷ほどきした後、持ってきていたたくさんのお菓子をあげました。特に  
ブラックサンダーがお気に入りでした。お菓子をあげた後は夕食の時間だったので  
ピザ屋に行き、オリジナルのトッピングのピザを食べ、残りは持って帰りました。  
その後、祖父母の家に行きアイスクリームサンドを食べました。チョコミントが白  
色だったので驚きました。自分の特技のダンスの動画を見せたらとても喜んでくれ

て良かったです。帰宅後は Alanna とテレビゲームをして過ごしました。その後お風呂に入ったけど、お風呂はホテルのような感じで湯船に入らないから、あまりお風呂にこだわりはないんだなと思いました。お風呂の後は寝ましたが、時差ボケで寝られず、結局寝たのは2時過ぎでした。初めての時差ボケの感覚に驚きました。

7月26日（2日目）

朝から父と Jude に初めて会い、挨拶をしました。その後、Jude と話しながら外で朝食を食べました。途中から Alanna と Aubrey も来て4人で食べました。朝食はチョコチップ or プレーンパンケーキ、ベーコン、ハッシュドポテト、スイカ、ブドウなどでした。朝食後、Alanna の高校に行って案内してもらいました。夏休みは生徒も先生も2か月完全休みなので、ほとんど誰もいなかったけど、アメリカの学校を見てみたかったので良かったです。きれいな陸上競技場があったり、教室がたくさんあったり、体育館の他にジムがあったりカフェがあったりと日本とは全く違いました。特に校舎の外壁に落書きや絵がたくさん描いてあって、その理由が何もないと寂しいからというのに価値観の違いを感じました。帰ってきてからは家族が全員揃ったので、お土産を渡しました。兄弟3人にはハンカチ、扇子、筆ペンなどを渡しました。両親に夫婦箸、壁掛けを渡しました。その後は昨日のゲームをしました。ゲームの後、食品販売店に行き、アメリカンキャンディーや、キウイ、アイスを買いました。昼食はパンやスープ、残りのピザを食べました。その後、市役所へ行き、エンシニータスの紹介や市役所探索、町巡りなどをしました。アメリカの町を回れて良かったです。その後は長男とまたゲームをしてその後、Alanna と祖母と3人でターザンのコンサートを観に行きました。



7月27日（3日目）

朝から昨日と同じ朝食を食べて、市役所へ行きました。最初にドーナツ屋に行き、ドーナツを食べました。アメリカのドーナツは大きくてとても甘かったです。その後、乗馬体験をしました。馬がすごく賢くて驚きました。馬を飼っている方のお話も聞けて、乗馬も楽しかったです。乗馬体験後、カフェで昼食でしたが、お腹いっぱいだったので、レモネードだけ飲みました。その後は、きれいなビーチでサーフィンをしました。サーフィンは難しいと思っていたけど意外とすぐ出来て楽しかった。

たし、海も天草と同じくらいきれいでした。サーフィンの後は、コーヒーショップに行き、抹茶を飲みました。その時、市長をはじめ、いろんな人と話せました。英語も慣れてきて良かったです。その後、ホストファミリーに迎えに来てもらい、帰宅後は、Jude と野球をしました。変化球を教えて、キャッチボールをしました。夕食はステーキハウスに行き、ステーキを頼みました。ステーキ屋なのに、バーみたいでした。その時、乾杯を教えてみんなでした。その後、帰ってから Jude の部屋でいろんなおもちゃやスポーツ選手のカードを見せてもらいました。翻訳機なしで話せて良かったです。

7月28日（4日目）

朝から Jude と家の周りを走って、朝食（シリアルとフルーツ）を食べて、みんなと集まり、市役所に向かいました。すると、市長がこの間行ったところとまた別のところのドーナツ屋のドーナツを買ってきてくれました。その後、2日目にホストファミリーと行った高校にまた行きました。この時は日本語の先生の方も一緒にいらっしやっただので、日本語の教室に入りました。アメリカでは、先生一人一人に部屋があり、生徒たちはそれぞれの先生の教室に授業を受けに行くことができました。電子レンジなどを置いている先生もいるみたいでした。また、清掃員の方々が掃除をされていました。日本の学校とはかなり違うと思いました。その後は、モーター付きの自転車で街をサイクリングしました。自転車用の道が、歩道と車道の間あって驚きました。自転車ツアーの後は、ハイキングやお祈りなどをする神聖な場所にも行きました。帰ってからは、また野球をしました。夕食はタコスでチップスが美味しかったです。食事の後は、野球のゲームを少ししてから、トランポリンパークに行きました。すごく楽しかったです。

7月29日（5日目）

この日はホストファミリーと1日を過ごす自由な日でした。朝から Jude と野球ゲームの続きをして、朝食はフレンチトーストとフルーツでした。その後、Aubrey の小学校へ行き農園と鶏舎を見ました。いろんなフルーツや野菜が植えられていて、パッションフルーツや紫のトマトなどの珍しいものも見ることができました。小学校の農園なのに広いし、植えられている種類も多くてこれはすごいなと思いました。その後は、母と Alanna を残して4人で大きなスーパーとスポーツショップに行きました。スポーツショップで父から『好きなユニフォーム選んでいいよ』と言われ、ユニフォームをプレゼントしてくれました。帰宅後は、Jude、Aubrey とテレビゲームをしました。母と Alanna が帰宅すると昼食でスープとパンを食べ少し野球をした後、動物園に行きました。日本の動物園より広くて、日本では見られない生き物もたくさんいました。動物園の後は日本の夏祭りがなんとアメリカであるみたいだったので行ってみました。浴衣を着て日本の昔の曲で盆踊りをしていまし

た。Alanna と祖母も参加していました。現地の方は『OBON』と呼んでいました。帰りにチキンバーガー屋によってバーガー、スープ、ポテトを買って食べました。夕食後はダンスを教えたり、枕投げをしたりしました。とても楽しかったです。



7月30日（6日目）

6日目は、僕が一番楽しみにしている日でした。朝から早起きしてフレンチトーストとブドウを食べて駅へ向かいました。そしてみんなで電車に乗りペトコパークへ向かいました。電車の中でガイドの方と一緒に英語で話すことができました。趣味やエンシニータスについて、またおすすめのお土産も聞きました。英語で質問出来て、学校で勉強していた良かったと思いました。言葉が通じるととてもうれしいし、まだまだ英語を勉強しなければならないなと感じました。Santa Fe に着くと、歩いてペトコパークまで向かいました。球場前に来た時に僕と大久保君が『えぐい』と言うと、さっきまで話していた人が何て言ったの？と聞いてきたので amazing！ や wow！ と思った時に使うと教えてあげました。その後もずっと使っていたので言語っていいなと思いました。到着すると手荷物チェックをされ、なんと試合前練習中に球場の中に入ることが出来ました。いつもゲームやテレビで観ている選手達が目の前にいたのでとても興奮しました。ダルビッシュ選手をはじめ、マチャド選手、金選手、タティス選手、ボガーツ選手などスーパースター達を見ることができ、写真を撮ったり話したり握手したり出来て良かったです。その後試合を観ました。7回に歌う『Take me out to the ball game』が歌えたのが嬉しかったです。帰宅後、夕食でタコスを食べっているとホストファミリーからプレゼントを貰いました。家族の分までくれて嬉しかったです。夕食後はこはくさんのホストファミリーの家でプールパーティーをしました。帰宅後はスモアというマシュマロとチョコをクッキーで挟んで溶かしたものを食べて、ルートビアというジュースを飲みました。日本には無い味だったので驚きました。

7月31日（7日目）ホームステイ最終日

朝から父が仕事ということで別れを告げました。朝食はシリアルでした。その後、準備して市役所に向かいました。そしてエンシニータスのみなさんに別れを告げました。笑顔で見送ってくれたけど Jude が泣いて悲しんでくれました。それを見て尚更まだ居たいと思いました。絶対にいつかまた会いたいです。

その後はロサンゼルスへ行きサンタモニカ、ハリウッド、ダウンタウンに行きま

した。同じアメリカでも少し治安が悪いところに行くともまったく違う景色でした。少し外れると歩道が全部ホームレスのテントで埋まっていたりしてとても驚きました。

今回の交流事業でいつもと違う環境で生活して、上記のように多くのことを経験し学びました。この7日間で、気づいたことがあります。

まず、エンシニータス市には道路にもビーチにもゴミが1つも落ちていませんでした。ポイ捨てする人もおらずとても美しい町でした。僕たちの町も更にきれいにしなければならないと感じました。

2つ目はエンシニータス市の人たちは見た目や国籍などに関係なく、とても温かく接してくださったことです。本当の家族のように接して下さり、とてもうれしかったです。相手を受け入れる気持ちはとても大切だと思いました。これから僕はたくさんの人と出会うと思います。家族や仲間、周りの人たちを大切にし、心をつなげていきたいと思っています。

日本とアメリカは、生活の仕方や文化が大きく違いました。けれど、その中でそれぞれの文化の良いところを共有し、日本の文化を伝えることができ良かったです。また、異なる地で育った自分と年齢の近い人とコミュニケーションをとれたことも、とても刺激になりました。日本とアメリカの教育の違いも、実際の学校生活を見る



ことはできませんでしたが、掃除がなく清掃員がいたり、クラスの教室がなく授業用の教室しかないところなど環境の違いを感じることができました。そして今、日本で英語を学んだ自分がどれくらい現地の人と話せるか試しましたが、実力不足も感じました。これから今回学んだことを生かしながら、伝えながら、より一層成長出来るようにしたいと思います。

また、今回一緒に行ったメンバーは積極的な人が多く頼れる人ばかりで、そのおかげで助け合いながら仲良く旅を終えることが出来ました。この出会いを大切にしたいと思います。そして、これからもエンシニータスと天草市の交流が続くように今回の経験を生かして、少しでも貢献出来たらいいなと思います。最後に、今回このような経験が出来たのは、常に気にかけて下さった市の職員の方々、自分たちを選んでいただき支えて下さった先生方、全面的に支えてくれた家族、周りのたくさんの皆様のおかげだと思っています。これからも感謝の気持ちを忘れずにがんばっていききたいと思います。

## 『 姉妹都市教育交流事業を終えて 』

牛深中学校 3年 伊藤 優里

私は7月25日から8月3日にかけて、天草市の姉妹都市であるカリフォルニアのエンシニータス市に行ってきました。この事業に参加するにあたって、現地ではどのような発見があり、どのような人たちに出会えるのか、自分自身、どう成長できるのか、期待に胸をふくらませて出国しました。

7月25日（1日目）

日本を出発した飛行機の中から、私の目標とした「多くの人と話す」ということがスタートしました。飛行機の中でも英語で話す機会があり、私の隣の席に座っていた人と、家族や彼女の出身であるカルフォルニアのことを話しました。今回の交流事業で、海外の人と話すことは初めてで緊張もしましたが、とても楽しい時間となり積極的に人に話しかけようという自信や勇気に繋がりました。

ロサンゼルスに着くと、そこは日本とは全く違う世界、目や耳に入るものすべてが英語で、自分が今いるのはアメリカなのだと思心から感じました。それと同時に、今まで習ってきた英語はどの程度日常の中で使えるのか、わくわくしました。そして、ホストファミリーと合流して家に着くと、ホストブラザーのタイラーとホストシスターのローレンが、「ゆり」という日本語のポスターを準備し歓迎してくれました。笑顔で迎えてくれてうれしかったです。そして、お母さんとタイラーが家の中の物や部屋、その使い方について話してくれました。最初、英語をうまく聞き取ることが出来ませんでしたでしたが、タイラーとお母さんは、私が理解できるまでゆっくりと話してくれました。

私が日本から持ってきた日本のお菓子や、扇子等をプレゼントしました。タイラーとローレンは、甚平と浴衣を見て喜んでくれました。夜ごはんはタコスを食べにレストランに連れて行ってくれました。また、お母さんとタイラーはベジタリアンだったので、新たな食文化について考えることもできました。ご飯を食べ終わると、タイラーとローレンと一緒に公園や2人が通っていた小学校や幼稚園、そしてプールに行ったりバスケットをしたりしました。また、私にとって夜に、子どもだけで散歩をするということは驚きでした。子どもたちも、自分の行動に責任を持っているの



だと感じました。

7月26日（2日目）

市役所訪問があり、市長の話を聞いてエンシニータス市の歴史を学びました。また、町を散策した中でも、現地の人たちが楽しそうに仕事をしていることも印象的でした。その後、エンシニータス市の街中を散策し、歴史を学ぶオールドスクールや、ボートハウスという大きな船の形をした家など沢山の物を見ることが出来ました。途中で海や川、また植物、鳥やうさぎなどの動物、とても自然豊かで日本とは少し違う自然を見ることが出来ました。また、町中にたくさんのゴミ箱が置いてあり、落ちていたゴミが一つもなかったことに驚きました。海にも一つもゴミが落ちておらず、エンシニータス市の人々は町を愛し環境を愛し、また沢山の取り組みが行われているのだと感じました。

その日のプログラムが終わった後、お母さんと一緒に、タイラーの通う高校に連れて行ってくれました。とても広くて、壁に絵が描いてありました。沢山の教室があり、アメリカの学生は、どのように授業を受けているのだろうととても興味が湧きました。タイラーにたくさんの質問をしました。また実際にその姿を見てみたいとも思いました。そして、スーパーマーケットに寄りました。日本とは少し違い多くの種類と大きな食品、なにより店員さんの笑顔と親しみやすさに居心地の良さを感じました。アメリカの店員さんや、町行く人々は私個人に興味を持って話しかけてくれ、その時に見た笑顔が忘れられません。

タイラーとお母さんと一緒に、タイラーが通っていたミドルスクールに行きました。そこでも、タイラーの友達に会うなどたくさんの出会いがありました。日本のコンビニにも行きました。日本の物がたくさん置いてあると思いましたが、アメリカのお菓子やホットドッグなどがたくさん置いてありました。家に帰ると、タイラーの家族の写真や私の持って行った写真で家族や友達、学校でのことを話すことができました。



7月27日（3日目）

ホストマザーは部屋で仕事をしていたので、私とタイラーは寝坊をしてしまいました。集合時間に遅れてみんなを待たせてしまいましたが、日本のように時間に厳しいというわけではなく、時間の感覚が日本と違うなと感じました。昼食後にビーチに行き、ボートに乗る体験をしたのですが、着替える際にスマートフォンをトイレに置き忘れてしまいました。



みんなも手伝ってくれ探したのですが見つかりませんでした。もう返ってこないかもと諦めていましたが、現地の人が見つけて届けてくれました。私は、現地の人々の温かさを心の底から感じる事が出来ました。

その日のプログラムが終わり、みんなでケーキを食べていると、ナターシャとサイリーンという大学生の2人が私に会いに来てくれました。彼女たちとは前回オンラインで行われた交流事業から友達になり連絡を取り合っていました。エンシニータス市に来ることが決まってからタイラーと一緒に連絡を取り合っていて、みんなで会う計画を立てて、今回は画面越しではなく実際に会えてとてもうれしかったです。

7月28日（4日目）

高校に連れて行ってもらい、教室にも入ることが出来ました。その学校で日本語の授業を担当されている先生と話をすることができました。前回や今回の交流事業では、私達と現地の学生の交流を手伝って下さり、月に何回か日本の学生と現地の学生の希望者でオンライン交流を行われているそうです。日本と海外を繋ぐ架け橋のような仕事であり、そのような仕事もあるのだと憧れました。

みんなでイーバイクサイクリングをしました。私は普段、自転車にあまり乗らないので何度もぶつかりそうになりましたが、現地の友達と一緒にゆっくり話しながら回ってくれてとても楽しかったです。その後、交流事業に参加した友達のホストファミリーであるケイトの家に行き、みんなで映画鑑賞をしました。友達の家から帰る時間は日本に比べて夜遅く、時間の感覚も日本とは違うのだと体験することが出来ました。



その後、交流事業に参加した友達のホストファミリーであるケイトの家に行き、みんなで映画鑑賞をしました。友達の家から帰る時間は日本に比べて夜遅く、時間の感覚も日本とは違うのだと体験することが出来ました。

7月29日（5日目）

家族とのフリーデーでした。エンシニータス市のことを知らないなので、ホストファミリーにおすすめの場所に連れて行ってほしいと頼みました。エンシニータス市で一番大きな図書館に行きました。昼から湖に行きカヤックをしました。私はタイラーと乗ってローレンはお母さんと乗り2つのチームで勝負をしました。その後、ケイトの家に行ってバーベキューをしました。私の想像していたような肉々しいバーベキューではありませんでしたが、ハンバーガーとフライドポテトや串にさして焼いたマシュマロをクッキーにチョコと一緒にはさんで食べるものがおいしかった

です。すると、タイラーたちが討論を始めました。それは、その食べ物をサンドウィッチというのか言わないのかについてです。パンにはさんでいるものがサンドウィッチで、クッキーにはさんであるからそれは違うよという意見と、別にパンでなくてもサンドウィッチと言うと思うという2つの意見に分かれていました。自分の意見を素直に親や友達に伝え、その意見をお互いに話し合い尊重し合っていてすごいなと思いました。

7月30日（6日目）

みんなで電車に乗ってサンディエゴまで野球観戦に行きました。偶然会ったチームの関係者の方が特別に会場を案内してくれました。そこで、ダルビッシュ選手や他の選手の方に会うことができ、写真も撮っていただきました。とても嬉しかったです。

スタジアムには少しごみが落ちていたところも見受けられました。自分たちで出したごみは家にしっかり持って帰るという日本の習慣は、素晴らしい文化なのだと改めて感じることができました。

7月31日（7日目）

ホストファミリーとのお別れの日です。上手く英語にして話すことが出来ないと思ったので手紙を書いて渡してきました。とても悲しかったけどまた会いに行けるように頑張ります。次に、ハリウッドに行きウォークオブチャイムという道を歩き、グローマンズチャイニーズシアターというところにもいきました。知っている映画の人物やキャラクターの像がたくさんあってすごいなと思いました。



ホテルに荷物を置き少し歩くと、大きなビルがたくさんありました。そこでは、法律関係の人たちが働いているのですが、ビルの下にはたくさんのテントが張っており、ホームレスの方が多くいました。その光景から、アメリカの格差社会を目の当たりにしました。私達が暮らしている天草のきれいな環境、美味しい食べ物、当たり前のように実は恵まれた環境なのだと改めて感じました。

私にとって今回の交流事業は、たくさんエンシニータス市を知ることができ、楽しい交流の場ともなりました。ホストファミリーとは数日間の生活を共有する中でたくさんのお話を話し、仲を深めることができました。

交流をする中で積極的に人に話しかけ、分からない単語はジェスチャーを付けたりと自分なりに伝えようと努力し、工夫をすることの大切さも学ぶことが出来ました。なにより笑顔や挨拶は世界共通なのだと感じました。

生活の中には文化や生活習慣の違いが沢山あり、その他にも私のホストファミリーはキリスト教を信仰していて、日曜日には教会に行くなど、普段の私の生活の中では体験できないことが多かったです。

今回の交流事業を通して悔しかったこともあります。それは、自分の伝えたいことを言葉にして相手に伝えること、また聞き取ることが出来なかったことです。これからも現地で知り合った人たちとは交流を深め、次は自分の力で現地に行けるよう、もっと英語の勉強をして沢山のことに挑戦をしていきたいです。

最後に交流事業を企画し、運営して下さった関係者の方々や、先生方、応援してくれた友達や家族に感謝し、この経験で得た経験と自信を生かしていきたいです。

## 『 私の夏の大冒険 』

天草中学校 3年 西島 美桜

### 【1日目】

市役所から車で福岡空港へ、飛行機で羽田空港へ移動した。そして、羽田空港からロサンゼルス空港へ飛んだ。大きな飛行機に乗っての約10時間のフライトは長く感じたが、映画を見たり寝たりして過ごした。窓側の席だったので窓から綺麗な景色を見ることができた。ロサンゼルス空港に着くと、目に入るすべての物からアメリカに来たことが感じられ、ワクワクした。入国審査では、本場の英語を聞き取り答えることができるか心配だったがしっかり答えることができた。入国審査官にHow are you?と聞かれた時、簡単なコミュニケーションをとることができた。ネイティブの方と実際に話して通じたことが嬉しかった。エンシニータス市役所に行く途中でIN-N-OUTという有名なハンバーガーのお店でランチをとった。アメリカではマクドナルドよりもIN-N-OUTの方が人気のあるお店だと聞いて驚いた。カップを渡されて自分で好きにドリンクをつぐところに日本との違いを早速感じた。

エンシニータス市役所に着くと、ホストファミリーや市役所の方など沢山の人が出迎えてくださった。市からリュックや日焼け止めなどの贈り物を頂いた。私のホストファミリーは、お母さんがイタリアの方でイタリアに帰省していらしたので、お父さんが早く帰って叔母さんと一緒に迎えに来てくれた。2人とも明るくて優しい方々でほっとした。



私がホームステイした家は、こはくさんがホームステイした家と仲がいらしく二家族で一緒に夕飯のピザを食べた。とても大きなピザだった。スーパーはシリアルの種類がとても多かった。牛乳は4ℓ売りが基本で1ℓ売りの飲み物はほとんどなかったのに驚いた。肉も大きな塊で売っており、自分の好きな大きさに切ってもらって買うスタイルだった。

### 【2日目】

朝起きたらお母さんとお姉ちゃんのソフィと弟のウィリアムが声をかけてくれた。午前中は、お母さんとソフィと私でビーチに行った。ビーチを歩きながら、ソフィの学校のことなどについて話を聞いた。

その後、市役所に行き、親書をエンシニータス市のトニー市長に渡した。親書を渡

ず役目は緊張したけれど、しっかりメッセージを伝えて渡すことができた。市役所内は日本と違い職員一人一人の空間が区切ってあった。

エンシニータス市の散策も楽しかった。散策ではアイスクリームを食べたり、街中にあった富士山の壁画を見つけたりした。

### 【3日目】

朝、市役所から最初にドーナツ屋に行った。日本で食べるドーナツよりもずっと甘かった。その後、サンランド牧場に行った。馬の体の汚れの落とし方や蹄のケア方法を学んだ。蹄の中に土が詰まっていると血流が悪くなることを初めて知った。実際に体験してみて、しっかりケアすることの大切さが分かった。

馬は大きくて、乗るのは大変だった。座ってみるととても力強く安定感があった。手綱の持ち方や、行きたい方向に行く方法を教えてもらいながらの乗馬体験はとても楽しかった。

その後、みんなでランチを食べ、ムーンライトビーチにサーフィンをしに行った。砂の上で練習してボードにつく手や足の位置を学んだ。海水は冷たく、実際に海でやってみると波もあり難しかった。私にサーフィンを教えてくださった方は良い波をじっと待つことが大事だと仰っていた。初めてのサーフィンだったけれどとても楽しかった。数回実際にボードに立つことができて感動した。



### 【4日目】

朝からE-バイクのお店に行った。たくさんの種類があり驚いた。まだ世界に公開されていないE-バイクも置いてあった。詳しくは言えないが、デザインがとても可愛かった。街に出て、たくさんの綺麗な景色を見ながらE-バイクで走った。途中、急勾配の坂があったが、普通の道のように楽々走ることができた。

その後みんなでランチを食べに行き、辛いのは苦手だけど、ハラペーニョが乗っているピザを食べてみた。とても辛くて、レモネードを沢山飲みながら食べた。そこで初めて食べたピクルスの唐揚げがとてもおいしかった。

そして、ダブルピークパークというサンディエゴが一望できる公園に行った。車で山頂付近まで登って見たその景色は、とても雄大で綺麗だった。岩の上にはサラサラの砂があり、歩くと何回も滑りそうになった。

## 【5日目】

今日はホストファミリーと過ごす日だった。私は朝からウィリアムと一緒に湖に行って釣りをした。ウィリアムがティラピアを狙うと言った。釣りを始めると、何となく感覚がつかめてきた。結局、釣果はゼロだったけれど、そこで自然の風景や白鳥などを見て、ゆっくりとした時間を楽しむことができた。

午後は、お母さんとソフィと私とウィリアムでバルボアパークという大きな公園に行った。それはダウンタウンにあり、古代遺跡のような昔の建物を再現したところだった。私たちは、「PASSENGERS」というアクロバティックショーを見た。強



弱のある動きがすごかった。同じ敷地内に一面の壁のような大きなパイプオルガンがあり、演奏してくださる方もいてその素敵な音色を聞くことができた。

帰宅後、家でソフィと卓球をした。家には卓球台もバスケのゴールもあった。卓球をするのは初めてで、力を入れすぎてしまい、ボールが遠くまで飛んで行き、なかなかラリーは続かなかった。3人でバスケもして、アメリカのバスケのゲームの仕方を教えてもらった。とても楽しい経験をさせてくれたホストファミリーには本当に感謝している。

## 【6日目】

早起きして、ホストファミリーのために味噌汁を作った。持って行った出汁を入れ忘れていつもの家の味のように作れなかったけれど、みんなが「おいしい」と言ってくれて嬉しかった。とりあえず、日本の食文化の一つを伝えることができた。

初めて2階建ての電車に乗った。日本とは違い、乗っている人は少なかったが電車の高い窓から海と湿地が見えて綺麗だった。

サンディエゴの駅に着くと海の近くでとても寒かった。港には MIDWAY という大きな船があった。それは、実際にミッドウェー海戦で使われた船と教えてもらった。甲板には飛行機が置かれていた。とても興味深かった。

次に行ったペトコパークはとても大きな球場だった。受付をすると、パドレスの関係者の方がダルビッシュ選手の首振り人形を持ってきてくださった。

中に入ると、選手の練習風景が見られた。そんな貴重なものが見られるとは思っていなかったのが、驚いた。WBCにも出場されていたキム・ハソン選手の姿も見られた。実際見る野球選手はオーラがあってとても恰好良かった。ダルビッシュ選手は昨日試合に登板されていたので、今日は見られないだろうと諦めていたが、いきなりベンチ裏から登場され、みんなで歓声を上げて興奮した。まさか会えるとは思

わず、ペンを持ってくるのを完全に忘れていた。握手をして、写真も撮ってくださり少し話もしてとても幸せだった。

その後、パドレスのお店に行った。帽子とユニフォームを買った。ランチは、塩辛いプレッツェルと、ホットドッグだった。プレッツェルは予想以上に塩辛かった。試合前に、みんなでユニフォームに着替え、いよいよゲームが始まった。ハラハラドキドキする展開で、ゲイリー・サンチェス選手が2回もホームランを打ち、とても盛り上がった。



7回のチェンジの時に「野球場へ行こう」という歌を歌った。球場がひとつになって盛り上がり、日本とは違う雰囲気を感じた。たくさんの選手の活躍でパドレスが勝った。とても嬉しかったし、楽しい経験となった。ベンチの下にはたくさんのゴミが捨てられているところに日本との違いを感じた。夜はプールパーティーに出かけた。プールはとても深く、中央付近は2メートルあると聞き、実際溺れそうになった。プールの中からボールを投げてバスケットゴールに入れるゲームをした。プールの中が温かくて外に出ると寒かった。みんなで遊んで楽しんだ。

明日は出発の日だったのでキャリーケースに荷物を詰めた。荷造りしているととても寂しくなった。

### 【7日目】

朝から市役所でお別れをした。たくさんの方が見送ってくださり。嬉しい気持ちと同時にとても寂しく悲しくもあった。お別れの後、車でロサンゼルスに行き、サンタモニカとハリウッドを観光した。テレビで見るあの大きな文字を実際に見ることができた。

リトル東京には、日本のものが沢山あった。ロサンゼルス市内にはホームレスの方がいたり、ごみが沢山あったり、日本では見たことがない景色があった。日本は、ゴミが落ちていたとしてもそんなに多くはない。でも、アメリカでは、空き地にたくさんのゴミが落ちていたり、道路の端にもゴミがそのままになっていたりした。それが当たり前前の景色だったことに驚きを感じた。

夜、引率の日隈先生の案内で中華街に夕食にでかけたことも大きな夏の冒険だった。道がだんだんと治安が悪くなっていくの肌で感じた。とても怖かったけれど、今ではそれもいい経験になった。ゴミの散乱した街の様子や見るからに治安の悪い場所など、アメリカの地域格差に驚くと同時に、改めてエンシニータスや天草の環境の良さを感じた。

## 【感想】

私は、この事業に参加することで、自分が知らない色々な世界があることを知りました。また、アメリカに滞在することで、日本とは違うたくさんの方に気づきました。

一番の学びは、自分の思いや考えを相手に伝えようとするのが大切だということです。また、言葉の知識を身に付けるだけではなく、実際に自分から話しかけて使うのが大切だと思いました。私は、自分の知っている単語や文法、ジェスチャーを使って一生懸命に伝えました。あきらめずに伝えようとしていくと分かっていただきました。とても嬉しかったです。また、ネイティブの方とお話する中で、学校の授業できく英語とはスピードが全く違い、聞き取れないこともありました。日頃から学校の先生や ALT の先生が、私達生徒が聞き取りやすいように話されていることが分かりました。自分の英語の力を伸ばすために、これからはもっと積極的に ALT の先生に話しかけて、ネイティブスピードの英語が聞き取れるようになりたいです。

研修を振り返ると、エンシニータスでは天草ではできない数多くの体験をさせていただきました。例えば、乗馬体験やプールパーティー、サーフィン、野球観戦などです。それらの体験を通して、アメリカの生活について、その文化や習慣、エンシニータスの自然の豊かさや環境の良さ、日本とアメリカの違いや、マナー、そこで出会ったたくさんの方々の温かさを知りました。

そして、他の都市で目にしたアメリカの地域格差や、ホームレスの問題など、天草では感じることはできない社会的な問題についても考えることができました。それと同時に、改めて天草の良さ、日本の良さを知ることができました。これから、たくさんの方に自分の体験したことや感じたことを伝えてエンシニータスや、アメリカについて知ってもらいたいです。また、学んだことをこれからの生活や自分の進路に生かしたいです。

今回、家族、先生方、引率の日隈先生、教育委員会の方々、市役所の方々、ロータリークラブの方々、たくさんの方に応援や支援をいただきこの貴重な体験をさせていただきました。本当に感謝しています。ありがとうございました。



## 『 エンシニータス市での思い出 』

河浦中学校 2年 大久保 仁頼

僕はこのエンシニータス市との交流事業に10日間参加しました。

(1日目)

いよいよ、エンシニータス市の交流事業が始まり、みんなでジャンボタクシーに乗り福岡空港へ向かいました。車の中では、最初からみんなとたくさん話したので、みんなと仲良くなれたし、これからの交流事業がとても楽しみになりました。そして福岡空港に着き、昼食を食べた後に羽田空港へ向かいました。手続きなどをして、飛行機に乗りました。長時間のフライトだったけど、映画を見たり、寝たりしたのであっという間でした。そしてついにアメリカロサンゼルス空港に着きました。空港を出たら、海外に来たことを実感する景色が広がっていて、とても興奮しました。そして車に乗ってガイドさんと共にロサンゼルス

を散策しました。昼になって、昼食を食べる時間になりました。昼食は「IN N OUT」というハンバーガー屋に行きました。このお店がアメリカで初めて訪れた飲食店となりました。そしてこのハンバーガー屋では一番小さいサイズのハンバーガーを食べました。一番小さいものが日本の普通のサイズぐらいで、さすがアメリカだなあと思いました。大きかったけれどとてもおいしくて全部食べることができました。そして食べ終わってエンシニータス市役所へ向かいました。市役所に着いたらみんなのホストファミリー全員が僕たちを歓迎してくれました。ここでは最初にホストファミリーと少し話して、エンシニータス市から僕たちへの贈り物をもらいました。そして解散して、ホストファミリーの家に向かいました。ホストファミリーはロビンソン家で特にホストマザーのケイトとホストブラザーのアシャーと仲良くなりました。そして、ホームステイ宅に着きました。家はとても大きくて家に着いたらまず家の中を案内してもらいました。その後、庭に行って少し遊びました。庭には3匹の犬がいました。とても懐っこくて可愛かったです。ボールとかも取ってきてくれるし、とても賢い犬でした。そして夕食はパスタを食べました。パスタも多くて食べ応えがありましたが、とてもおいしくて全部食べきりました。そして食べ終わった後には歯磨きをして早めに寝ました。



### (2日目)

2日目はエンシニータス市をみんなで散歩しました。エンシニータス市はゴミ箱がところどころに置いてあってゴミが一つも落ちていませんでした。そしてビーチやポートハウス、古い学校などに行きました。古い学校では、アチャーの名前を漢字で書きました。そしたら、アチャーはとても気に入ってくれたようで、喜んでいました。そしてあっという間に時間が過ぎて3時になりました。そこでみんなでアイスを食べに行きました。サイズはミディアムを頼んでフレーバーはチョコにしました。そしてきたアイスは日本のアイスよりもちっと大きかったです。味も甘くておいしかったです。そして解散した後にホストファミリーとスーパーに行きました。アメリカのスーパーは大きくて品そろえも豊富でした。広すぎて全部見ることはできなかったけど、とても楽しかったです。家に帰ったら6時だったのでホストファミリーと夕食を食べました。夕食はホットドッグで僕は5本ぐらいホットドッグを食べました。とてもおいしかったです。この日はアチャーの彼女も来ていたので3人で日本のアニメを見ました。アチャーは筋肉が好きらしいので「刃牙」を3人で見ました。日本のアニメ文化はやっぱりすごいなあと改めて感じました。

### (3日目)

今日は朝からドーナツをみんなで買って食べました。アメリカのドーナツはとても甘かったです。その後にオリブンヘインのサンランド牧場に行って乗馬体験をしました。最初に馬についての説明を受けて、ブラッシングや手入れなどの説



明も受けました。その後に馬の乗り方を教えてもらってから、馬に乗りました。馬に乗ってみたらとても気持ちよかったです。馬も言うことを聞いてくれたし、乗りながら感じる風はとても気持ちよかったです。その後に「fish101」というお店に行ってレモネードを飲んだ後に、ムーンライトビーチに行ってサーフィンをしました。ここでは最初にウェットスーツを着た後に、インストラクターの人にサーフィンの仕方を教わりました。初めてのサーフィンだったので不安もありつつ、海に入りました。だけど、思ったよりも簡単に乗ることができたのでとても楽しかったです。

(4日目)

今日は最初にアシャーたちが通っている学校に行きました。学校はとても広かったし、設備も整っていました。夏休みは完全に休みで学校にあまり行かないそうです。これを聞いて僕もアメリカの学校に行きたいと思いました。その後みんなで電動自転車に乗りに行きました。説明を受けた後に電動自転車に乗って町へ出かけました。電動自転車に乗りながら見るアメリカの景色はきれいで風がとても心地よかったです。そして電動自転車に乗ってピザを食べに行きました。ここでは5枚のピザやサラダ、フライドチキンなどを食べました。ピザには唐辛子を刻んだものがついていてみんなでどれだけピザにかけられるかを試しました。僕は瓶の半分ぐらいしかけたけど、意外と辛くなくておいしかったです。電動自転車ツアーも終わって、その後にダブルピークパークでハイキングをしました。頂上から見る景色はとてもきれいでした。360度、町を見ることができ、青空でとても美しかったです。その後アメリカの人が信仰をしたりする宗教的な場所へ行きました。そこには自然がいっぱいで極楽という感じがしました。太平洋も一望することができてとても美しかったです。



(5日目)

今日はアシャーとボクシングをしました。初めてだったけど、やり方を教わってサンドバッグを使って実際にやってみました。意外とサンドバッグが動いてびっくりしました。その後少し筋トレをして家に帰りました。帰って少し休んだ後にアシャーの友達とフライドチキンを作りました。フライドチキンはみんなで協力して作りました。そして出来上がったフライドチキンはとてもおいしかったです。

(6日目)

今日は野球観戦に行くためにサンディエゴへ向かいました。少しサンディエゴを散歩した後に試合があるペトコパークに行きました。試合が始まる時間より早く球場へ行ったのでなぜだろうと思ったら、パドレスのベンチの前に連れて行ってくれて、選手たちの練習を見ることができました。これで終わりかと思ったけど、選手たちを呼んだら僕たちのところへ来てくれて一緒に写真を撮ったり、サインを書いたりしてくれました。その中でもダルビッシュ有選手と写真を撮れた

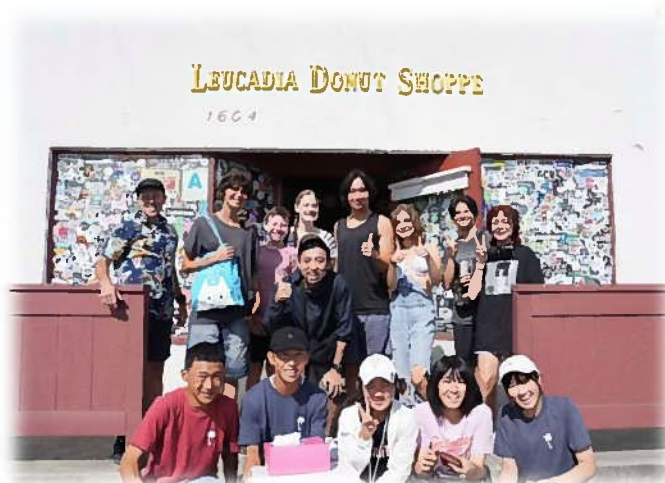
ことがうれしかったです。写真などを撮り終わった後に球場で買い物などを済ませると、いよいよ試合が始まりました。試合では、ホームランやうまいプレーなどが出たときにとても盛り上がりました。試合もパドレスが勝ったのでとても楽しかったです。そして帰った後にみんなで集まって、プールパーティーをしました。プールパーティーではプールの中でバスケをしたり、腕相撲をしたりしました。そして料理もおいしくてフライドチキンが一番おいしかったです。夜になったら、夜景と星空と火を眺めていました。とてもきれいでした。

(7日目)

今日はホストファミリーとのお別れの日となりました。悲しくてさみしかったけどいつでも来ていいよと言ってくれたので、また行きたいです。お別れした後はサンタモニカやハリウッドへ行きました。サンタモニカは遊園地みたいなところで、朝でもたくさんのお客さんが来ていました。そしてハリウッドではレッドカーペットが実際に敷かれるところやチャイニーズシアターに行ったりしました。その後に買い物をして、ホテルのあるリトル・トーキョーに行きました。ホテルに荷物を置いた後にみんなでホテルの周りを散策しました。リトル・トーキョーは日本みたいな感じで落ち着きました。売っているものも日本のものばかりだったので、みそ汁を買ってみました。その後にみんなで中華料理を食べに行きました。行くまでの道のりが少し怪しい感じで怖かったけど、無事に店に着きました。料理はとてもおいしかったです。そして、ホテルへ帰りました。ホテルに帰ったら7日ぶりの日本食であるあさげを飲みました。これがとてもおいしくて日本食のすばらしさを改めて感じました。

今回この姉妹都市教育交流事業に参加したことで自分の成長につながったと思うので良かったです。乗馬やスポーツなどで英語を使ってコミュニケーションをとることで英語を話す力や聞き取る力をつけることができました。また、ホストファミリーとコミュニケーションをとる中で上手く言葉で伝えることができない

時もありました。だけど、ジェスチャーなどをすることで伝わりやすくなりました。ここで僕は伝えようとする姿勢が大切だと学ぶことができました。



今回この交流事業で学んだ英語や伝えることの大切さを今後崎津ボランティアガイドに生かしていきたいと思います。そのためにも英語の復習をして学んだことを忘れずに生かしていけるようにしたいです。また、今回の交流事業で学んだことや体験したことを家族や友達に伝えたり、学校の学習発表会で発表したりして、私の学びを広げていきたいと思います。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えていただいた天草市や天草市教育委員会の皆様にお礼を申し上げますとともに引率していただいた先生をはじめ、支援していただいたすべての皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

## 「 姉妹都市教育交流事業を終えて 」

御所浦中学校 教諭 日隈 尚人

### 1 はじめに

今年度天草市立御所浦中学校へ赴任し、初めての島の暮らしの中で、地域の方々の温かさや自然の豊かさに触れながら、充実した日々を過ごしている。豊かな自然に囲まれながら日々を過ごしていた。そのなかで、今回姉妹都市教育交流事業の引率の話を頂いた。1988年から天草市（旧本渡市）とエンシニータス市は姉妹都市として、多様な交流を進め、友好親善の輪を広げてきた。今回の訪問事業は、新型コロナウイルスの影響もあり、4年ぶりのエンシニータス市訪問となるものであった。多くの参加希望者の中から選ばれた6名の生徒が、天草市から代表としてエンシニータス市を訪れる中で、引率者として、生徒と共に多くの経験をさせていただいた。今回はその概要を述べていく。

### 2 現地での活動

【1日目】7月25日（火）

<ホストファミリーとの初対面>

日本からロサンゼルス国際空港までの約10時間のフライトを終え、さらに車で3時間程度かけて、エンシニータス市役所へ着いた。子ども達も、時差もあり疲れた様子であったが、手作りの横断幕を掲げ、笑顔で出迎えてくれているそれぞれのホームステイ先の家族や、市役所の方々の姿を見て、元気を取り戻していた。



・エンシニータス市へ到着した際の様子

【2日目】7月26日（水）

＜市役所訪問＞

午後から市役所を訪れ、歓迎レセプションの後、エンシニータス市長へ親書を手渡した。

【日隈尚人 御所浦中学校 挨拶要旨】

私たちは、天草市から姉妹都市教育交流事業で訪れました。私を含め全員この訪問をととても楽しみにしていました。この訪問が、天草市、エンシニータス市の更なる友好関係の発展に繋がることを願っています。

【トニー・クランツ エンシニータス市長 挨拶要旨】

本日はこのような機会に参加できることを大変うれしく思う。このエンシニータス市と天草市の関係は、20年以上になり、今日のように6人の子ども達と1人の引率者を出迎えることができたのは、関係を継続するために惜しみない協力をしていただいている方々のおかげである。このエンシニータス市は、魅力にあふれた素晴らしい場所だと自負している。このエンシニータス市で過ごす約1週間、担当であるニック・バックの案内のもと、この町の素晴らしさを肌で感じていただけると思う。この関係が今後も継続し、さらに発展していくことを願っている。



・エンシニータス市長 トニー・クランツ氏      ・市長へ親書を渡した際の様子

【リック・シェイ エンシニータス前市長 挨拶要旨】

当時、私が市長を務めていた際に、この交流プログラムを始めることができた。今もこうやって友好関係の輪を広げ続けることができていることを大変嬉しく思う。以前、天草市（旧本渡市）を訪れたが、自然豊かで人も素晴らしく、このエンシニータス市とも似ていたのを覚えている。今回訪れた天草の子ども達が、多くのことを経験し、更なる友好関係の発展に寄与していくことを願っている。



・写真左がエンシニータス前市長 リック・シェイ氏

#### <エンシニータス市内見学>

午後からは、現地でのガイドを努めてくれたエンシニータス市役所のニック・バック案内のもと、ムーンライトビーチ、オールドスクール、ジェラルト101というカフェを訪れ、エンシニータス市の中心地を訪れた。



・ムーンライトビーチの様子



・サンディエゴ最古の学校である  
オールドスクールでの様子

#### 【3日目】7月27日（木）

午前には、オリブンヘインにあるサンランド牧場を訪れた。この牧場にいる馬たちは、アイスランド原産の馬で、サラブレッドに比べ、足は速くないが、穏やかで長距離移動することが得意だという説明をうけた。実際に乗ってみると、穏やかでゆっくりだが、想像以上に揺れ、姿勢を維持するには筋力が必要であると感じた。その後、ブラッシングをしたり、撫でたり、一緒に写真を撮るなどした。



### <サーフィン>

午後は、ムーンライトビーチへ赴き、サーフィン体験をした。天候も良く気温は暖かいが、海は寒流のため、水温が低く、ウエットスーツを着ての体験であった。インストラクターからボードの上での立ち方などの指導を受け、挑戦したが、ボードの上に立つことは想像以上に難しく、何度もバランスを崩し、ボードから何度も落ちた。しかし、練習を重ねると全員がボードの上に立つことができるようになった。



・サンランド牧場のブラッシングの様子



・サーフィン時の記念撮影

### 【4日目】7月28日（金）

#### <海岸の電動自転車ツアー>

電動自転車に乗り、海岸沿いのサイクリングを行った。ここ数年の間でエンシニータス市の中心道路には自転車専用レーンが作られ、自転車に乗りながら市中を散策することができるようになった。エンシニータス市で電動自転車のシェア事業を行っている Bcycle で安全講習を受け、電動自転車に乗りサイクリングへ赴いた。途中、Cardiff Kook の像の前で記念撮影を行った。



・Cardiff Kook の像の前で記念撮影

### <ダブルピークでのハイキング>

サンディエゴで一番標高の高い、ダブルピークでのハイキングを行った。日本の山のイメージと違い、木や草は多くなく、赤く乾燥した土や大きな岩が転がっている山道であった。エンシニアタス市のみならず、サンディエゴを一望できる景色は圧巻だった。



・ハイキング時の様子

### 【5日目】7月29日（土）

#### <ホストファミリーとの一日>

生徒はホストファミリーと一緒に、釣りやジムでのボクシング、遊園地などへ赴き交流を深めた。私は、ホストファミリーと午前はラホーヤ岬へ、午後はオールドタウンを訪れた。美しい景観が魅力の海岸線沿いにラホーヤ岬はあり、波による浸食でユニークに入り組んだ洞窟も有名である。また、野生のアザラシやオットセイ、ペリカンを見ることができ、気持ちよさそうに日光浴をする姿が印象的であった。

午後はオールドタウンという歴史公園を訪れ、1800年代の開拓時代における建物や馬車を見学した。



・ラホーヤ岬で日光浴するアザラシ



・当時使用されていた馬車が再現されていた

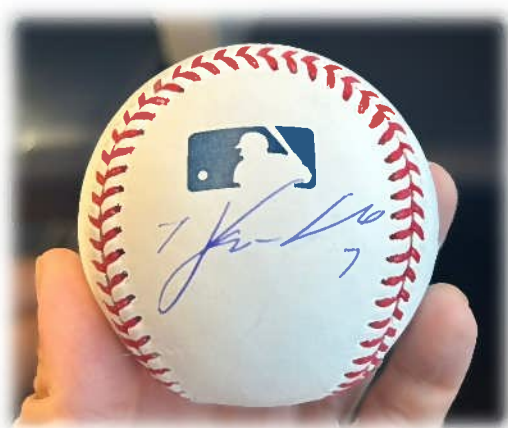
【6日目】7月30日（日）

＜野球観戦＞

ペトコパークで行われるサンディエゴパドレスの試合を見に訪れた。パドレスのCEOがエンシニアタス市に居住しており、関係者の特別な配慮もあり、試合前のグラウンドに降り、選手と触れ合う機会があった。このことは直前まで子ども達には知らせず、サプライズであったため、大変驚いた様子であった。試合もパドレスが勝利し、興奮のさめやらぬままエンシニアタス市での最後の活動を終えた。



・ダルビッシュ有選手との記念撮影



・キムハソン選手のサインボール

【7日目】7月31日（月）

＜ロサンゼルス観光＞

一週間お世話になったホストファミリーとの別れであった。子ども達もそれぞれ言葉の壁もありながら、一生懸命にコミュニケーションを取り親睦を深めたホストファミリーとの別れを惜しんでいた。その後、サンタモニカ、チャイニーズシアター、ハリウッドなどを観光し、リトル東京にあるホテルへチェックインした。



・サンタモニカでの記念撮影



・ハリウッドスターの手形とサイン

【8日目】8月1日（火）

＜ロサンゼルス出発＞

宿泊したホテルを離れ、ロサンゼルス国際空港へと向かった。約11時間程度かけて羽田空港へ到着した。飛行機の遅延もあり、日本へ着いたのは8月2日（水）17：35であった。

【9日目】8月2日（水）

＜羽田から福岡へ＞

19：35羽田発であったため、急いで国際線ターミナルから国内線ターミナルへ移動し、手荷物を再度預けるなどして、最終便で福岡空港へと向かい、博多駅最寄りのホテルで宿泊をした。

【10日目】8月3日（木）

＜福岡から天草へ＞

午前10時にホテルを立ち、天草へ向かった。道中も子ども達は楽しそうに会話をしており、SAに立ち寄った際も、様々な食べ物を買うなどして楽しんでいた。天草市役所へ着くと、保護者の方々や先生方、市役所の職員の皆さんが迎えに来て下さっており、全員が無事に天草まで帰ってこられたことに安堵した。

### 3 おわりに

今回、エンシニータス市を訪問し、現地での滞在7日間、のべ10日間という期間、エンシニータス市、天草市の関係者のおかげで充実した行程となり、レセプションや市長訪問、多くの活動体験に加え、さまざまな形でたくさんの方たちと交流を深めることができた。特にホストファミリーとの生活は、とても有意義な時間であった。新型コロナウイルスの影響で訪問ができない中でも、両市の学校間でオンラインでの交流を行うなど、制限のある中で絆を深めてきた。その中で、4年ぶりとなる訪問に参加できたことを心から嬉しく、ありがたく思う。

現地を訪れ、実際に使われている”生きた英語”に触れ、文章を読んだり、書いたりする力に加え、自分の思ったことや感じたことを相手に伝える大切さを改めて感じた。今後は日頃の授業を通して、天草の子ども達の成長のために尽力をしていきたい。

最後に、今回の姉妹都市教育交流事業に際し、事前の準備及び現地での案内でお世話になった両市の関係者に心から感謝を申し上げたい。

"After completing the sister city exchange program"

1 Introduction

This year, I moved to Goshoura Junior High School, and in my first life on the island, I spent my days surrounded by warm locals and rich nature. One day I was asked to join the sister city exchange project as chaperone. Amakusa City (formerly Hondo City) and Encinitas have been sister cities since 1988, promoting various exchanges and expanding the circle of friendship. This visit project was the first visit to Encinitas in four years, partly due to the impact of the new coronavirus. Six students, selected from among many applicants, visited Encinitas as representatives from Amakusa City. This time, I will give an overview of the sister city exchange program

2 Local activities

[Day 1] Tuesday, July 25

<First meeting with host family>

After a 10-hour flight from Haneda to Los Angeles International Airport, we rode a van about 3 hours to Encinitas City Hall. The children looked tired due to the jet lag, but they regained their energy when they saw the homestay families and the city hall people welcoming them with a handmade banner and smiling faces.

[Day 2] Wednesday, July 26

<Visiting City Hall>

I visited the city hall in the afternoon and handed over a personal letter to the Mayor of Encinitas after the welcome reception.

[Naoto Hinokuma Goshoura Junior High School Greeting Summary]

We visited from Amakusa City as a sister city exchange project. We were all looking forward to this visit. I hope that this visit will lead to further development of friendly relations between Amakusa City and Encinitas City.

[Summary of Tony Kranz's Mayor Encinitas Address]

I am very happy to be able to participate in such an opportunity today. The relationship between Encinitas City and Amakusa City has been going on for over 20 years, and we were able to welcome 6 children and 1 chaperone today because we have made efforts to continue the relationship. I am grateful to the people who gave me this opportunity, and to the people who generously cooperated

with me as a homestay host. The city of Encinitas prides itself on being a wonderful place full of charm. During the week you will spend in Encinitas, you will be able to experience first-hand the wonders of this town under the guidance of Nick Buck, who is in charge of the tour. I hope that this relationship will continue and develop further.

[Rick Shea Former Mayor Encinitas Greeting Summary]

I was able to start this exchange program when I was mayor at the time. I am very happy that I can continue to expand the circle of friendship in this way. I once visited Amakusa City (then Hondo City), and I remember that it was similar to Encinitas City, with its abundant nature and wonderful people. I hope that the children of Amakusa who visited this time will experience many things and contribute to the further development of friendly relations.

<Encinitas city tour>

In the afternoon, we visited the center of Encinitas, visiting Moonlight Beach, Old School, and a cafe called Geralt 101, under the guidance of Nick Buck of Encinitas City Hall, who acted as our local guide.

[Day 3] Thursday, July 27

In the morning, I visited Sunland Ranch in Olivenhein. I was told that the horses on this farm are native to Iceland, and although they are not as fast as thoroughbreds, they are calm and good at running long distances. When I actually rode it, it was gentle and slow, but it shook more than I imagined, and I felt that I needed muscle strength to maintain my posture. Afterwards, he brushed, petted, and took pictures with it.

<Surfing>

In the afternoon, we went to Moonlight Beach and experienced surfing. The weather was fine and the temperature was warm, but due to the cold currents in the sea, the water temperature was low, so we had to wear a wet suit. He received instruction from an instructor on how to stand on the board, and tried it, but standing on the board was more difficult than he had imagined, and he lost his balance many times and fell off the board many times. However, with practice, everyone was able to stand on the board.

[Day 4] Friday, July 28

<Coastal electric bicycle tour>

I rode an electric bicycle and cycled along the coast. In the last few years, bicycle lanes have been built along the central roads of Encinitas, allowing people to cycle around the city. After taking a safety course at Bcycle, which operates an electric bicycle sharing business in Encinitas, I rode an electric bicycle and went cycling. On the way, we took a commemorative photo in front of the statue

of Cardiff Kook.

<Hiking at Double Peak>

We hiked Double Peak, the place with the highest altitude in San Diego. Contrary to the image of Japanese mountains, there were not many trees and grass, and the road was red, with dry soil and large rocks. The view of not only Encinitas city but also San Diego was spectacular.

[Day 5] Saturday, July 29

<A day with your host family>

The students deepened their exchanges with their host families by going fishing, boxing at the gym, and going to an amusement park. My host family and I visited Cape La Jolla in the morning and Old Town in the afternoon. Cape La Jolla is located along the coastline, which is attractive for its beautiful scenery, and is also famous for its unique caves that have been eroded by waves. In addition, I was able to see wild seals, fur seals, and pelicans.

In the afternoon, we visited a historical park called Old Town to see buildings and carriages from the frontier era of the 1800s.

[Day 6] Sunday, July 30

<Watching baseball>

I visited to watch the San Diego Padres game at Petco Park. The CEO of the Padres lives in Encinitas, and with the special consideration of those involved, I had the opportunity to go down to the ground and interact with the players before the game. I didn't tell the children about this until just before, and they seemed very shocked because it was a big surprise. The Padres won the match as well, ending their last activity in the city of Encinitas without letting up in excitement.

[Day 7] Monday, July 31

<Sightseeing in Los Angeles>

It was a farewell to my host family who took care of me for a week. Despite the language barrier, the children were reluctant to say goodbye to their host families, with whom they worked hard to communicate and deepen their friendships. After that, we visited Santa Monica, Chinese Theater, Hollywood, etc., and checked into a hotel in Little Tokyo.

[Day 8] Tuesday, August 1

<Departure from Los Angeles>

I left the hotel where I stayed and headed for Los Angeles International Airport. It took about 11 hours to arrive at Haneda Airport. Due to flight delays, I arrived in Japan at 17:35 on August 2 (Wednesday).

[Day 9] Wednesday, August 2

<From Haneda to Fukuoka>

Since we were departing from Haneda at 19:40, we hurriedly moved from the international terminal to the domestic terminal, checked in our baggage again, and took the final flight to Fukuoka Airport, where we stayed at a hotel near Hakata Station.

[Day 10] Thursday, August 3

<From Fukuoka to Amakusa>

We left the hotel at 10:00 am and headed for Amakusa. The children seemed to enjoy talking with each other on the way back, and when they stopped by SA, they enjoyed buying various foods. When I arrived at Amakusa City Hall, the parents, teachers, and city hall staff were there to pick us up.

Conclusion

This time, I visited Encinitas City and stayed there for 7 plus travel time, totaling 10 days. Thanks to the people involved in Encinitas City and Amakusa City, it was a fulfilling trip. I was able to deepen exchanges with many people in various ways. Especially living with my host family was a very meaningful time. Even though they were unable to visit due to the novel coronavirus, they have deepened their ties under restrictions, such as conducting online exchanges between schools in both cities. I am truly happy and grateful to have been able to participate in this visit for the first time in four years. Finally, I would like to express my heartfelt gratitude to the people involved in both cities who helped us with the preparations and on-site guidance for this sister city exchange project.



July 26<sup>th</sup>



July 27<sup>th</sup>





July 28<sup>th</sup>



July 30<sup>th</sup>



July 31<sup>th</sup>



★事前市長訪問 【令和5年7月21日（金）】



★帰国報告会 【令和5年8月21日（月）】







天草市教育委員会

教育総務課